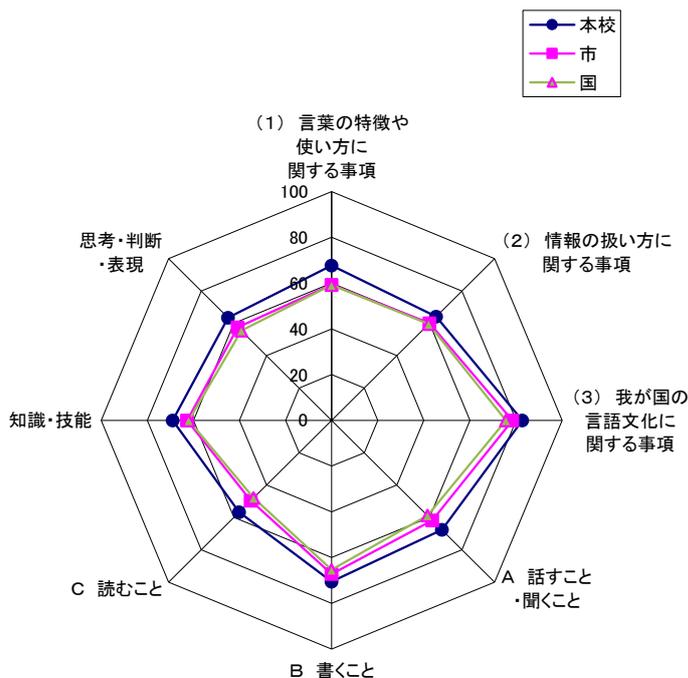


宇都宮市立豊郷中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|-----|--------------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 国 |
| 領域等 | (1) 言葉の特徴や使いに関する事項 | 67.7 | 59.3 | 59.2 |
| | (2) 情報の扱いに関する事項 | 64.1 | 60.0 | 59.6 |
| | (3) 我が国の言語文化に関する事項 | 82.7 | 78.4 | 75.6 |
| | A 話すこと・聞くこと | 67.7 | 61.8 | 58.8 |
| | B 書くこと | 70.5 | 67.2 | 65.3 |
| | C 読むこと | 56.8 | 49.7 | 47.9 |
| 観点 | 知識・技能 | 69.0 | 62.7 | 62.0 |
| | 思考・判断・表現 | 63.5 | 57.6 | 55.4 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | | | |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|--------------------|---|--|
| (1) 言葉の特徴や使いに関する事項 | ○正答率が全国平均を8.5ポイント上回っている。 ●表現の技法について理解しているかどうかの問題で、全国平均を上回っているが差が少なく正答率も61.6%である。 | ・文法事項や漢字については、日々の授業の中で反復しているため、身に付いていると考えられるので、今後も反復学習を続けていきたい。 ・表現技法は、詩歌や俳句を学ぶときに重点的に指導している。定着させるには、表現技法を使った場合、使わなかった場合を比較させてその効果を考えさせるような指導展開を行いたい。 |
| (2) 情報の扱いに関する事項 | ○正答率が全国平均を5.5ポイント上回っている。 ●意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかの問題で全国平均を上回っているが、差が少なく正答率も46.5%である。 | ・具体と抽象との関係を読み解く力は身に付いている。 ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解する力を伸ばす指導が必要である。話合いや、文章を読む中で客観的に見て情報を整理させるような指導展開を行いたい。 |
| (3) 我が国の言語文化に関する事項 | ○正答率が全国平均を7.1ポイント上回っている。 ●行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものと、「楷書と同様に終筆を止めて書いている」と回答しているものは全国平均を下回っているが、書写の用語の正しい理解において、課題が見られる。 | ・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解し、楷書で書くことは理解できていると考えられる。 ・ICTが普及する時代において、筆で書く機会は一層重要である。楷書や行書で書ける楽しさ、豊かさに触れながら文字を効果的に書く場面を作っていきたい。 |
| A 話すこと・聞くこと | ○正答率が全国平均を8.9ポイント上回っている。 ●話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめる問題で全国平均を上回っているが、話すこと・聞くことの問題の中では正答率が56.8%にとどまり課題が見られる。また、無解答率は7.0%で全国平均を下回っているが、差はない。 | ・ペアでの話合いやグループでの話合いを行っている成果が見られるので今後も続けていきたい。 ・他者の発言と結び付けて自分の考えを述べることに課題が見られる。自分の考えを述べるだけでなく、話し手の考えと比較しながら自分の考えを形成し、考えをまとめたり広げたり深めたりする指導を行いたい。 |
| B 書くこと | ○正答率が全国平均を4.8ポイント上回っている。 ●表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する問題では、正答率が全国平均を上回っているが、無解答率が12.4%もあり、差はないものの、全国平均を下回っている。 | ・書く目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしたうえで書く力は身に付いている。 ・表現を工夫して物語の続きを書くことに対して、どう書けば良いかが分からなくて無解答となったことが考えられる。書くためには、自分で立場を設定したり、読み手を想像して書く力が必要である。題材の設定や下書きの段階において、重点的に指導を行いたい。 |
| C 読むこと | ○正答率が全国平均を8.9ポイント上回っている。 ●本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題では、正答率が全国平均を上回っているが、無解答率が8.6%もあり、県平均を1.4ポイント、全国平均を0.2ポイント上回っている。 | ・今後も、文章の構造と内容を把握させる授業展開を行い、文章全体と部分との関係に注意しながら読む指導の充実を図る。 ・要約するには、まず文章の内容を精査しなければならない。そのため、文章全体の内容を短くまとめたり、情報を他者に伝えるために必要な部分を取り出してまとめたりするなど、必要な情報を正確に捉えて要約する指導を行いたい。 |